

日本人間工学会入会申込書

- ◎ご記入頂く情報は楷書体で分かりやすくはっきりとご記入下さい。
- ◎記入漏れがないかをよくご確認ください。

※以外を欄記入下さい。 会員番号

お名前	フリガナ		
性別と生年月日	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	西暦	年 月 日 生
勤務先 または 学校名	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	名称	フリガナ	フリガナ
	研究室・部・課名	フリガナ	フリガナ
	住所	フリガナ	フリガナ
自宅住所	フリガナ	フリガナ	フリガナ
e-mail	フリガナ	フリガナ	フリガナ

入会申込書受付・問い合わせ先：

TEL 03-3587-0278 FAX 03-6277-7412

MAIL jes@ergonomics.jp

日本人間工学会事務局
住所：〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-16 赤坂スクエアビル 2F

主要研究テーマ		専攻分野	
推薦者(2名)	印 印	入会年度	年度(4月～翌3月)
会員の種類	1.正会員 2.準会員	会費納入方法	1.郵便局からの振り込み(専用払込取扱票を学会より送付) 2.銀行口座自動引落(毎年4月)
学会誌送付先	1.自宅 2.勤務先		

- 選択欄は1, 2のいずれかを○で囲んで下さい。
- 会員名簿整理の必要上、生年月日(西暦)を必ず記入して下さい。
- 学生で準会員として入会を希望する方は在学証明書を添付して下さい。
- 身近に推薦者がいない方、その他不明な点は下記に問い合わせ下さい。
- 入会申込書は①郵送②FAX③E-mailいずれかの方法にて送付下さい。

入会のご案内

1. どのような専門領域の方が会員になりますか？

日本人間工学会の会員は、人間工学、経営工学・管理工学、心理学(認知心理学・組織心理学)、生理学、労働科学、衛生学、社会医学、看護学、工業意匠、感性工学、情報デザインなど、ヒトに関連する様々な専門領域の方が会員となっています。人間工学は実践応用の科学・技術であるため、会員は大学、公的機関、研究所、民間企業など多様なセクターの方で構成されています。

<入会金・年会費>

	正会員(個人)	準会員(学生)	賛助会員
入会金	500円	500円	不要
年会費	10,000円	5,000円	60,000円
合計	10,500円	5,500円	60,000円

2. 会員になるとどのような特典があるのですか？

メリット

① 大会での研究発表ができます

発表者のうち1名以上が会員であることが必要です。毎年開催される年次大会での発表は学術成果に関する情報交換の貴重な場となります。

メリット

② 機関誌「人間工学」が届きます

1965年に刊行され、歴史のある学術誌として高い評価を得ている機関誌「人間工学」が年6巻お手元に届きます。最新の人間工学研究の動向をいち早く入手することができます。原著論文の他、国外の研究動向や技術開発動向に関する解説、人間工学と関連した領域の国際学術集会参加報告等も紹介されています。



メリット

③ 機関誌「人間工学」へ論文投稿することができます

投稿原稿の著者は、1名以上が本学会員であることが必要です。学会員となることで、機関誌「人間工学」への投稿権が得られます。

メリット

④ 会員価格で大会に参加できます

年次大会をはじめ、各支部大会・研究部会など、日本人間工学会関連事業の参加費には、会員一般価格が設定されています。

メリット

⑤ Web会員専用サイトを利用できます

学会の基調講演・特別シンポジウムの映像を閲覧したり、人間工学研究相談室の利用などのサービスを利用可能です(2010年10月以降)。また、産学連携支援のためのコンサルタント窓口なども利用可能になります。

Frequently Asking Question

3 日本人間工学会の社会貢献への取り組み

Social Responsibility of JES

● 日本人間工学会は、学術的貢献はもちろんのこと、「社会に役立つ実践科学」としての人間工学の普及を目指しています。人間工学は、日常の身近な生活・労働場面に密着する学際領域です。安全・安心・快適・健康な社会を形成するために、次世代人材の育成、国際貢献、産業界への支援活動を通じて、学術団体として社会的責任を果たすべく努めています。

社会貢献

① 教育への支援

● 公開講座の開催
学会員・賛助会員のみならず、地域・一般にも広く開放して、人間工学の公開講座を開催しています(どなたでも無料で受講できます)。



● 小中高生を対象とした出前授業・公開講座

出前授業協力者のデータベースを整備し、小中高生向け教育コンテンツを整備します。全国の小学校・中学校・高校からの要望に応じて、該当地域の人間工学会会員が出前講義を行います。

社会貢献

② 次世代人材(院生・学生)の育成

● 表彰制度による優秀研究発表奨励賞の授与
次世代人材の奨励を目的として、全国大会において優れた研究・発表を行った人材に賞状を授与しています。

● 企業との架け橋企画の展開

「企業の人間工学実務者」と「人間工学を活かした仕事に就きたい学生」が直接意見交換することができる座談会の場を全国大会・支部大会にて提供しています。企業へ就職して人間工学を活かしている専門家に、学生時代に勉強したことや、現在の仕事と人間工学の関わりを話していただくと同時に、経験に基づいた就職活動のポイントなどもお話しできます。



● 人間工学人材のキャリア形成支援

人間工学を学べる大学リスト、企業内での人間工学応用事例(人間工学グッドプラクティスデータベースの公開)、人間工学のキャリア・ビジョンの提供(企業が求める人間工学能力・人材に関する情報の提供など)などを積極的にweb上で公開していきます。

社会貢献

③ 国際社会への貢献

● 人間工学国際規格(ISO規格)制定への貢献

安全・安心・快適・健康な社会を形成するために、グローバルなルール作りは必要です。国際標準化機構(ISO)における人間工学関連の国際規格作りにより日本人間工学会のエキスパートを派遣し、国際規格の提案や審議に貢献しています。



● 日韓合同シンポジウムの開催

韓国・日本の人間工学人材の交流促進を目的に、大韓人間工学会と日本人間工学会による、合同シンポジウムを毎年持ち回りで開催しています。

社会貢献

④ 産業界への貢献

● 国内人間工学関連規格(JIS規格)制定への貢献

日本では、国が定める工業標準として日本工業規格(JIS)が制定されています。工業分野における標準化は今日の社会・経済活動の利便性・生産性・公正性確保のためには不可欠であり、人間工学領域の規格制定に本学会員が貢献しています。

● 認定人間工学専門家資格制度の推進

製品の安全・安心・健康に関する品質保証のためには、人間工学の導入は不可欠です。一定水準以上の人間工学の知識・技術・問題解決能力を有する人間工学人材を認証し、人間工学に与えられた社会的役割を果たすことのできる人材を社会に輩出しています。

● 人間工学グッドプラクティスデータベースの公開

人間工学的に設計された製品事例や、労働条件・環境を人間の諸特性に適合させた職場改善事例など、人間工学の応用例・良好実践例を収集しています。どなたでも閲覧・利用できます。



人間工学について、さらに知りたい方は…



■ 日本人間工学会のホームページをご覧ください

- ◎ 新webサイトは、単なる情報発信を目的としたものではなく、人間工学の知識・ヒト・情報集「人間工学の知の広場(Agora)」をコンセプトとしたインタラクティブ・サイトとして、2010年5月にリニューアルしました。
- ◎ 学会員との対話と意見交換を継続して行い、常にブラッシュアップが図られるという「学会員参加型によるサイト運営」を行い、多様化する社会ニーズを随時把握し、公益団体に求められる社会的責任を果たすため、各セクターへの情報発信と交流を有機的に図ることをねらっています。
- ◎ 日本人間工学会への入会手続きはオンライン上からも行えます。個人情報保護のためSSL暗号化通信で手続きを行うため、安心して入会申込手続きを行うことができます。

安全・安心・快適な社会の実現と、人々の健康保持・増進のために、これからも日本人間工学会にご期待ください。

■ 日本人間工学会事務局

TEL 03-3587-0278 FAX 03-6277-7412

MAIL jes@ergonomics.jp ※お問い合わせには、できるだけe-mailをご利用下さい。

■ 本リーフレットに関するお問い合わせ

MAIL koho@ergonomics.jp ※お問い合わせには、できるだけe-mailをご利用下さい。

